

か て い が く し ゅ う  
**家庭学 習 の て び き**

さ か い し り つ ご か し ょ う し ょ う が っ こ う  
堺市立五箇荘小学校

## もくじ

|      |                                   |         |
|------|-----------------------------------|---------|
| 1.   | 家庭学習について . . . . .                | 2 ページ   |
| 2.   | 自主学習のすすめかた . . . . .              | 4 ページ   |
| 3.   | 家庭学習の時間・自主学習ノートの書き方について . . . . . | 5 ページ   |
| 4.   | 自主学習ノートの見本 . . . . .              | 6 ページ   |
| 5.   | 1 年生の自主学習 . . . . .               | 8 ページ   |
| 6.   | 2 年生の自主学習 . . . . .               | 9 ページ   |
| 7.   | 3 年生の自主学習 . . . . .               | 1 0 ページ |
| 8.   | 4 年生の自主学習 . . . . .               | 1 1 ページ |
| 9.   | 5 年生の自主学習 . . . . .               | 1 2 ページ |
| 1 0. | 6 年生の自主学習 . . . . .               | 1 3 ページ |
| 1 1. | おわりに . . . . .                    | 1 4 ページ |

# 1.家庭学習について

しょうがっこう ねんせい ちゅうがっこう ねんせい たいしゅう ぜんこくがくりよく がくしゅうじょうきょう  
 小学校6年生・中学校3年生を対象とした全国学力・学習状況  
 ちょうさ か こ けっか がくりよく がくしゅう せいかつかんきょう おお かんれんせい  
 調査の過去の結果から、学力と学習・生活環境は大いに関連性があり、  
 がくりよく かていがくしゅう こうじょう  
 「学力は家庭学習で向上する」ということがわかってきました。  
 しょうがっこう がくしゅう しょうらいじどう しゃかいじん じりつ きそ  
 小学校の学習は、将来児童が社会人として自立するための基礎となる  
 たいせつ がっこう じどう がくりよくこうじょう と く どうじ  
 大切なものです。学校で児童の学力向上に取り組んでいくと同時に、  
 がっこう かてい れんけい がくしゅうないよう たし ていちゃく がくりよく の  
 学校と家庭が連携することで、学習内容がより確かに定着し、学力が伸  
 びていくと考えます。

かていがくしゅう つぎ きょういくてきこうか  
 家庭学習には、次の5つの教育的効果があるといわれています。

## がくしゅうないよう ていちゃく

### (1)学習内容の定着

かてい ふくしゅう しゅうじゅく ていちゃく はか  
 家庭で復習することにより、習熟や定着を図ることができます。と  
 かんじ けいさん まいにち く かえ れんしゅう がっこう わ  
 くに、漢字や計算などは、毎日繰り返し練習することで、学校で「分かっ  
 た」ことが、家庭で「できる」という自信につながります。

## のう かつせい

### (2)脳の活性化

のう てあし きんにく おな よ か けいさん まいにち く かえ  
 脳は、手足の筋肉と同じように、読み・書き・計算を毎日繰り返すこと  
 かつせい のう きた きた はったつ  
 で活性化します。脳を鍛えれば鍛えるほど発達し、たくましくなり、いろ  
 ただ つか せいしつ  
 いろなことに正しく使おうとする性質があります。

## まな しゅうかん けいせい

### (3)学ぶ習慣の形成

まいにち かていがくしゅう けいぞく みずか まな し せい み あ まえ  
 毎日の家庭学習の継続は、自ら学ぶ姿勢を身につけ、やがて当たり前  
 しゅうかん おとな しごと しゃかい つね " まな つづ  
 の習慣になります。それは、大人になっても仕事や社会で、常に「学び続  
 ける"大きな力になっていきます。すなわち、『人の生き方』につながって  
 いきます。小さい頃から毎日欠かさずに、子どもの成長にあった家庭学  
 しゅう たいせつ  
 習をしていくことが大切です。

#### (4) 精神力の育成

家庭学 習の最大の敵は、テレビやゲーム、携帯電話(スマートフォン)やパソコンなどの「誘惑」です。これに打ち勝つことは、時間や欲望を制御できることにつながり、辛抱強さ・根気・集中力を養うことができます。テレビやゲームなどの時間を決めて、学習や読書の時間をしっかりと確保しましょう。そのためには、テレビを消す、みんなで読書するといった家族全員の協力が必要です。中学生になれば、そうした環境を自ら作り出し、「自律\*」、そして、「自立\*」が近づいていくようにしなければなりません。

#### (5) 家族のふれあい

「本を読んでいるとき、横で聞いている」「勉強がわからないとき、教えたり一緒に考えたりする」など、学習する子どもに保護者がかかわることでコミュニケーションが図れます。家族のふれあいの機会が増えることは、子どもの精神安定にもつながり、心身も頭脳も健やかに育ちます。

この冊子を保存し十分に活用して、学びの環境を整えたり家族の温かいふれあいを増やしたりすることで、子どもの家庭学習を充実させていきましょう。

\*自律…「自分で考えて自身をコントロールできること」を意味します。

対義語は、「他律」。

\*自立…「親などの他の人やものに頼ることなく、独り立ちしていること」や「他者に頼ることなく、物事を行えること」を意味します。対義語は、「依存」。



### 3. 自主学 習のすすめかた

(1) 自分<sup>じぶん</sup>の興味関心<sup>きょうみかんしん</sup>があるものから始める<sup>はじめる</sup>。

「やってみたい！」と思う<sup>おも</sup>ことに自由<sup>じゆう</sup>に取り組む<sup>とく</sup>ことが出発点<sup>しゅつぱつてん</sup>。

日々<sup>ひび</sup>の生活<sup>せいかつ</sup>で出てくる「疑問<sup>ぎもん</sup>」「不思議<sup>ふしぎ</sup>」でもいい。

(2) まねることから始める<sup>はじめる</sup>。

「自由<sup>じゆう</sup>に」といわれると逆<sup>ぎやく</sup>に何をすればよいか悩<sup>なや</sup>んでしまう。

(3) 内容<sup>ないよう</sup>は「授業<sup>じゅぎょう</sup>に生きるかどうか」で考<sup>かんが</sup>える。

「自由<sup>じゆう</sup>に」といわれるとゲームや漫画<sup>まんが</sup>の内容<sup>ないよう</sup>を調<sup>しら</sup>べる人も出<sup>ひと</sup>てくる。

そこで、自主学 習<sup>じしゅがくしゅう</sup>の内容<sup>ないよう</sup>が授業<sup>じゅぎょう</sup>の何<sup>なに</sup>と関係<sup>かんけい</sup>しているのか意識<sup>いしき</sup>する。

すなわち、実生活<sup>じっせいかつ</sup>につながるかどうかで、学 習<sup>がくしゅう</sup>のめあてを設<sup>せってい</sup>定<sup>てい</sup>する。

\* めあての設<sup>せってい</sup>定<sup>てい</sup>・学 習<sup>がくしゅう</sup>内容<sup>ないよう</sup>の設<sup>せってい</sup>定<sup>てい</sup>のいい例<sup>れい</sup>・悪い例<sup>わるい</sup>



(○) 電車<sup>でんしゃ</sup>が好きな人<sup>す</sup>が自分<sup>じぶん</sup>の好きな沿線<sup>えんせん</sup>の駅周 辺<sup>えきしゅうへん</sup>マッ<sup>つく</sup>プを作<sup>つく</sup>ってみる。

⇒単<sup>たん</sup>に電車<sup>でんしゃ</sup>を調<sup>しら</sup>べるのではなくて、電車<sup>でんしゃ</sup>を通<sup>とお</sup>して町づ<sup>まち</sup>くりについて

学<sup>まな</sup>ぶことができているから○。

(○) 電車<sup>でんしゃ</sup>が好きだから、電車<sup>でんしゃ</sup>の構造<sup>こうぞう</sup>、しくみなどについて調<sup>しら</sup>べる。

⇒単<sup>たん</sup>に好きな電車<sup>でんしゃ</sup>を調<sup>しら</sup>べるのではなく、電車<sup>でんしゃ</sup>の動<sup>どう</sup>力<sup>りき</sup>などについて

調<sup>しら</sup>べることから電<sup>でん</sup>気<sup>き</sup>などについても学 習<sup>がくしゅう</sup>できていれば○

(○) ポケモンが好きな人<sup>す</sup>が、ポケモン<sup>ひと</sup>の属性<sup>そくせい</sup>から、水<sup>みず</sup>と火<sup>ひ</sup>の関<sup>かん</sup>係<sup>けい</sup>を調<sup>しら</sup>べる。

(○) さらに、火<sup>ひ</sup>に対する水<sup>みず</sup>の使<sup>つか</sup>い方<sup>かた</sup>、消 防<sup>しょうぼう</sup>・消 火<sup>しょうか</sup>などについて調<sup>しら</sup>べる。

⇒ポケモン図鑑<sup>ずかん</sup>の写<sup>うつ</sup>しではなく、実社会<sup>じっさいしゃかい</sup>では火<sup>ひ</sup>・水<sup>みず</sup>がどのように

使<sup>つか</sup>われているのか学<sup>まな</sup>ぶことができているから○。

(×) ポケモンが好きなので、好きなポケモン<sup>す</sup>の技<sup>わざ</sup>などをまとめる。

⇒これは、ポケモン図鑑<sup>ずかん</sup>を写<sup>うつ</sup>しているだけ、実生活<sup>じっせいかつ</sup>につながるところがないので×。

(4)



## 2. 家庭学習の時間

宿題と自主学習を合わせて【学年×10分】の時間で取り組むことを目安とする。

## 5. 自主学習ノートの書き方について



次のページからは、自主学習のノートの見本と各学年で取り組んでみたらよいことを書きました。  
参考にしてみてください。



日にち

空の色について

タイトル

6/5(金)

④ 空の色について調べよう。  
昼はなぜ青く、夕方はなぜ赤い〜

めあて

調べたきっかけ

きっかけ・理由

外をさんぽしているとき、時間によ、て空の色が変わることがずっと不思議でした。どうして空の色が変わるのか。また、どうして青や赤なのか調べてみたいと思いました。

インターネットや本で調べました。

しらべた方法

どうして空に色がついて見えるのか？

もんだい

太陽の光が関係している??

ふきだし

太陽の光

白色光(白に近い色)



赤, だいだい, 黄, 青などがまざっている。



太陽の光が地球にとどき、  
大気(空気)の層を通りぬける。



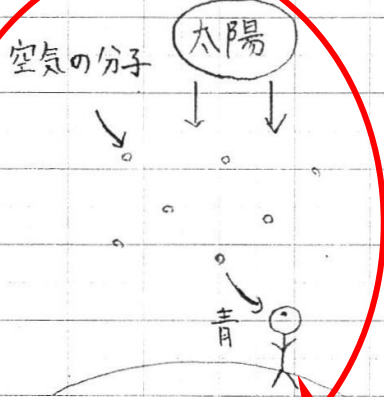
私たちの目にとどく!!

絵



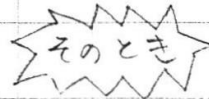
もんだい

① どうして昼間は青く見えるの？



大気を通りぬけた光が、空気分子とぶつかる、

↓  
さまざまな色の光が飛びちる



とくに青い光がたくさんちらばる。  
だから人の目には空が青く見える!!

ふきだし

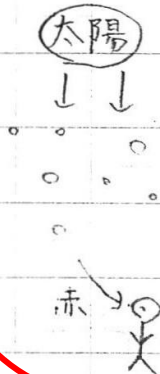
もんだい

絵

どうして夕方は空が赤いの？

② どうして夕方は赤く見えるの？

絵



昼間と同じように太陽の光が空気の分子にあたると人の目にとどく、

ただし夕方は赤い光!!

まとめ

波長のちがい!!!

① 太陽が一番近くにある昼間

波長が短い青い光が空気中でよくちらばる、

② 太陽が一番遠くにある夕方

波長の長い赤い光が遠くまで光がとどくので夕方にはよく見える、

どうして？

ふりかえり

今日分かったことなどを書く。

③ 空の色が変化するのは、太陽の光と波長が関係していることが分かった。次はくもがどうしてできるのかを調べてみたいです。

次何をするかも書こう!

1年生の学習は、これからの学習の基礎になります。

まずは、「宿題をていねいにする習慣」をつけてください。

【国語】

○ひらがな、カタカナ、漢字（80字）

～姿勢よく、鉛筆を正しくもって、ゆっくりていねいに～

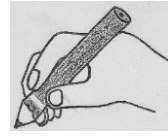
- ・書きとり…手本の字を見て、くりかえし書く
- ・言葉集め…〇〇のつく言葉集め、しりとりなど
- ・日記（絵日記）…助詞「てにをは」を使い分けて書けるように
- ・視写…教科書や教科書以外の本からお気に入りの文を選びノートに書き写す

○音読 ～大きな声ですらすらと読めるように～

- ・教科書や教科書以外の文章を声に出して読む。

○読書

- ・本を身近に置いておく。1日10分以上読む。



【算数】

○たし算、ひき算 ～暗算で正確にできるように～

- ・計算練習…くり上がり・くり下がりの計算を中心に
- ・文章題を解く
- ・問題作り…たし算、ひき算のお話作り

○時刻 日頃から時計を見て何時何分かを意識する。



【そのほか】

○家事・お手つだい

- ・段取りをつけたり見通しをもったりするための社会勉強になります。



★お願い★

- ・宿題をきちんとしたかどうか見てあげてください。  
(きちんとできていたときは、声をかけてあげてください。子どもの励みになります。)
- ・時間割・連絡帳を見て、明日の準備を一緒に確認してあげてください。
- ・子どもの興味や関心、学年に応じた本をいつでも読める環境を作ってください。
- ・ときどき読み聞かせをしてあげてください。

## 【国語】

### ○漢字（160字）

- ・教科書やドリルなどをよくみてノートに書き写す。
- ・書き順や文字の形，とめ・はらい・はねに気をつけて正確に書く。
- ・習った漢字は連絡帳や作文などで積極的に使う。

### ○音読 ～大きな声ですらすらと読めるように～

- ・句読点に気をつけて読む。
- ・会話文に気をつけて読む。（登場人物の気持ちを考えて）

### ○読書

- ・本を身近に置いておく。1日10分以上読む。

2  
年  
生



## 【算数】

### ○たし算・ひき算・かけ算・問題作り

- ・筆算の練習…とくに，3位数で十の位が0のひき算など）

$$\begin{array}{r} \text{例} \quad 103 \\ - \quad 86 \\ \hline \end{array}$$

- ・10000までの数のたし算・ひき算
- ・文章題…教科書やドリルの問題に再度取り組む。

- ・単位の換算 mm・cm・m, mL・dL・L

- ・あがり九九，さがり九九，ばら九九がスラスラいえるようになるまで練習。

- ・100マス計算（タイムをはかる）

- ・あなうめ問題を解く（例  $7 \times \square = 49$ ）

### ○時刻・時間

- ・時刻をよむ以外に，○分前，○分後，○時間後などの応用問題を解く。



## 【そのほか】

### ○好きな「物語」や「詩」などを視写する。

### ○お題を決めて，言葉集めをする。（季節に関係することば，色を表す漢字など）

### ○音読，読書した本や好きな本の紹介文を書く。

## ★お願い★

- ・宿題をきちんとしたかどうか見てあげてください。

（きちんとできていたときは，声をかけてあげてください。子どもたちの励みになります。）

- ・時間割を見て，明日の準備を確認してください。（連絡帳も見て，持ち物を確かめる。）

- ・子どもの興味や関心，学年に応じた本をいつでも読める環境を作ってあげてください。

- ・ときどき読み聞かせをしてあげてください。

## 【国語】

### ○漢字 (200字)

- ・漢字ドリルを かんじ 中心に ちゅうしん 繰り返し練習する。
- ・訓読みと音読みを覚える。
- ・新出漢字を使った漢字を日記や感想文の中で活用する。

### ○音読

- ・場面の様子が分かるように声の大きさや強弱に気をつけて表現を工夫する。

### ○読書

- ・1日20分以上、学習に関係する本(並行読書)や興味のあるジャンルの本の読書。

## 【算数】

### ○かけ算, わり算

- ・横式や筆算で正しく計算できるようにする。
- ・100マス計算で九九を確実に覚える。

### ○文章問題

- ・四則計算を使った文章問題の立式・計算が正しくできるようにする。

### ○分数・小数

- ・分数と小数の関係を理解して、日常生活で使えるようにする。



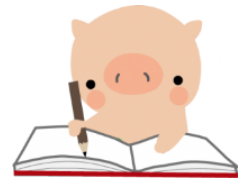
## 【そのほか】

### ○国語辞典でわからない言葉の意味調べ。

### ○ローマ字の練習 (ヘボン式)。

### ○新聞を読む。

### ○インターネットを使って調べ学習にチャレンジ。



## ★お願い★

- ・提出期限を守って出す習慣をつけよう。
- ・自主学習は答え合わせまで！やりっぱなしでは意味がありません。
- ・間違えた問題はもう一度やり直しましょう。
- ・答え合わせのご協力と励ましの言葉がけをお願いします。
- ・宿題ができていますかどうかみてあげてください。
- ・次の日の学習の準備ができるように、声をかけてあげてください。

(10)

3  
年生  
ねんせい

## 【国語】

### ○漢字（202字）

- ・ノート、連絡帳、そして、作文など、文章の中で使えるようにする。

### ○ローマ字

- ・50音・破裂音・濁音・大文字・小文字をきちんと使えるようにする。

### ○音読

- ・場面の様子、人物の気持ち、書かれている内容を考えながら読む。

### ○読書

- ・1日20分以上、学習に関係する本(並行読書)や興味のあるジャンルの本の読書。

4  
年生  
ねんせい

## 【算数】

### ○わり算の筆算

- ・商の見通しを立て、正しく計算する。

### ○小数・分数

- ・小数・分数の意味や大きさを知り、理解する。
- ・小数のわり算で、あまりのある計算が正しくできる。
- ・小数を用いた倍、簡単な割合

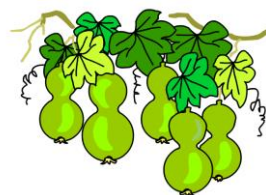


### ○面積

- ・面積の意味がわかり、正しく面積を求められ、単位の意味がわかるようになる。

## 【そのほか】

- 俳句を詠んだり、ことわざ・故事成語について調べたりする。
- 漢字辞典で新出漢字について調べる。
- コンパス・分度器で模様をかく。
- 都道府県名を覚える。
- 各地の山や川などの名前を地図帳で調べる。
- 植物や生き物を育てて観察する。



## ★お願い★

- ・提出期限を守って出す習慣をつけよう。
- ・自主学習は答え合わせまで！やりっぱなしでは意味がありません。
- ・間違えた問題はもう一度やり直しましょう。
- ・答え合わせのご協力と励ましの言葉がけをお願いします。
- ・宿題ができていますかどうかみてあげてください。
- ・次の日の学習の準備ができるように、声をかけてあげてください。

こくご  
【国語】

かんじ じ  
○漢字（185字）

かんじじてん ぶしゆ しら  
・漢字辞典で部首などについて調べる。

ことば き ただ もち ぶんしょう つく  
○言葉の決まりを正しく用いて文章を作ることができる。

くとうてん せつそくご  
・句読点（「。」や「、」）、接続語（しかし、なぜならなど）。

しゅご あ じゅつご つか  
・主語と合った述語を使う。

どくしょ  
○読書

にち ぶん い じょう がくしゅう かんけい ほん へいこうどくしょ きょうみ ほん どくしょ  
・1日20分以上、学習に関係する本(並行読書)や興味のあるジャンルの本の読書。



5  
年生  
ねんせい

さんすう  
【算数】

せいすう しょうすう  
○整数と小数

ばいすう やくすう さいだいこうやくすう さいしょうこうばいすう  
○倍数と約数…最大公約数や最小公倍数など

ちよくほうたい りつぽうたい たいせき  
○直方体と立方体の体積

しょうすう さん ざん けいさんちんだい ぶんしょうちんだい れい  
○小数のかけ算・わり算の計算問題や文章問題（例  $1.8 \times 2.1$   $4.5 \times 0.3$  など）

ぶんすう つか けいさん ふうぶん やくぶん  
○分数を使った計算（通分・約分をしっかりとできるように）

わりあい ひやくぶんりつ わり ばい わりび おな  
○割合と百分率（ $30\% = 3割 = 0.3倍$ 、7割引きなどが、同じとイメージできる。）

たん いりょうあた おお はやさ しごと りょう い み  
○単位量当りの大きさ（速さや仕事の量の意味）

えんしゅうりつ い み  
○円周率の意味

かくちゅう えんちゅう みとりず てんかいず か れんしゅう  
○角柱・円柱の見取図・展開図を書くことができるように練習する。



【そのほか】

けいご つか  
○敬語を使う。

てんき きろく  
○天気の詳細をとる。

がいこくご はな かんたん ぶん れんしゅう  
○外国語が話せるように簡単なあいさつ文やフレーズを練習してみる。

ねが  
★お願い★

じしゅがくしゅう こた あ  
・自主学習は答え合わせまで！

やりっぱなしでは意味がありません。やり直しですが自主学習です。

答え合わせのご協力と励ましの言葉がけをお願いします。

しゅうしん きしょうじかん じかん なら ごと おやこ はな あ  
・就寝・起床時間、テレビ・ゲームの時間、習い事など、親子で話し合い、

自分で時間をコントロールできるように生活習慣づくりを進めてください。

ちゅうがっこう む じしゅがくしゅう じゅうよう もくてき いよく だいじ  
・中学校に向け、自主学習がたいへん重要になります。目的や意欲をもつことが大切です。

相談にのってあげたり、時には問題を出してあげたりしてください。

## 【国語】

### ○漢字（191字）

- ・漢字辞典で部首などについて調べる。

### ○言葉のきまり

- ・ローマ字・言葉のきまり（主語、述語、修飾語、動詞、形容詞、形容動詞、熟語の成り立ち、敬語）などを身につける。

### ○読書

- ・1日30分以上、学習に関係する読書（並行読書）や自分の興味のあるジャンルを読む。

6  
年生

## 【算数】

### ○分数の四則計算（たし算・ひき算・かけ算・わり算）ができる。

- ・分数の計算の仕方と意味や割合の考え方を説明できるようにする。

### ○対称な図形（線対称・点対称）

### ○拡大図と縮図

### ○円の面積、角柱・円柱・およその体積

- ・公式を覚え、論理的に考えて面積や体積を求められるようになる。

### ○量・かさ・長さの単位の換算ができる。（1L=1000mL=1000cm<sup>3</sup>）



## 【そのほか】

### ○身の回りで使われている和語・漢語・外来語を見つける。

### ○古典を読む。「竹取物語」「平家物語」「徒然草」「おくのほそ道」など

### ○日本の各地の名産を調べる。

### ○世界の国々について地図帳・インターネットなどで調べる。

### ○月の満ち欠けや天体について調べる。

### ○外国語が話せるように簡単なフレーズを練習してみる。



## ★お願い★

### ・自主学習は答え合わせまで！

やりっぱなしでは意味がありません。やり直しまでが自主学習です。

答え合わせのご協力と励ましの言葉がけをお願いします。

### ・就寝・起床時間、テレビ・ゲームの時間、習い事など、親子で話し合い、

自分で時間をコントロールできるように生活習慣づくりを進めてください。

### ・中学校に向け、自主学習がたいへん重要になります。目的や意欲をもつことが大切です。

相談にのってあげたり、時には問題を出してあげたりしてください。

# おわりに

ベネッセ教育総合研究所が、学力テストの結果と保護者アンケートの結果をもとに調査した結果によると、家庭での環境、生活と子どもの学力には多くの項目で相関関係がみられています。とくに大きな差がみられた項目としては、「家に本（漫画、雑誌はのぞく）がたくさんある」「毎日朝食を食べさせている」「ニュースや新聞記事について子どもと話す」「テレビゲームで遊ぶ時間は限定している」といったものが挙げられます。また、家庭での学習時間も、学力テストの結果に関係があることが調査からわかっています。

意欲的な子どもたちが、家庭学習に取り組むことで、学習習慣が身につく、学ぶ喜びを実感し、夢をかなえる力が育っていくことを願っています。家庭学習の取組には、子どもたち自身、学校、そして保護者の皆様のご協力と熱意が必要不可欠です。ともに力を合わせ、子どもたちの力を育てていきましょう。どうぞ、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。